

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-512523(P2001-512523A)

【公表日】平成13年8月21日(2001.8.21)

【出願番号】特願平10-536994

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 4/60

C 0 8 F 4/64

C 0 8 F 10/00

【F I】

C 0 8 F 4/60

C 0 8 F 4/64

C 0 8 F 10/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月22日(2005.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

# 手 続 補 正 書

平成17年2月22日

特許庁長官 殿



1 事件の表示

平成10年特許願第536994号

2 補正をする者

名 称 エクソンモービル・ケミカル・パテント・インク

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区永田町1丁目11番28号

相互永田町ビルディング 8階

電話 3581-9371

氏 名 (7101) 弁理士 山 崎 行 造



4 補正対象書類名

請求の範囲及び明細書

5 補正対象項目名

請求の範囲及び明細書

6 補正の内容

別紙のとおり。



1. 請求の範囲を以下の通り訂正する。

「1. 式：



(式中、

Mは、第3、4、5、及び6族金属から成る群から選択される遷移金属であり；

Lは、同じでもお互いに異なってもよいシクロペンタジエニド含有配位子であるが、少なくとも1つのLは第13、15、又は16族ヘテロ環式縮合シクロペンタジエニド配位子であり；

Aは、形式的な負の電荷を有し、同じでもお互いに異なってもよい、シクロペンタジエニド含有配位子以外の、単原子又は多原子配位子であり；

D'は、存在しても存在しなくてもよい任意である供与体配位子であり；

mは、1、2、又は3の値を有する整数であり；

nは、1、2、又は3の値を有する整数であり；そして

oは、任意である供与体配位子D'の数を表す整数である)

によって表される遷移金属化合物を活性化することによって形成された触媒錯体を含む重合触媒系。

2. 前記遷移金属が、第4、5、及び6族金属から成る群から選択される、請求項1の重合触媒系。
3. 前記第13、15、又は16族ヘテロ環式縮合シクロペンタジエニド配位子が、環内のヘテロ原子として、硼素、窒素、燐、酸素、及び硫黄から成る群からのみ選択される1つ以上の原子を含む、請求項1又は2の重合触媒系。
4. 前記第13、15、又は16族ヘテロ環式縮合シクロペンタジエニド配位子が、環内のヘテロ原子として、1つ以上の窒素ヘテロ原子のみを含む、請求項1又は2の重合触媒系。
5. 前記第13、15、又は16族ヘテロ環式縮合シクロペンタジエニド配位子が、環内のヘテロ原子として、1つ以上の硫黄ヘテロ原子のみを含む、請

求項 1 又は 2 の重合触媒系。

6. 前記遷移金属化合物が、ジメチル ( $\eta^5$ -ペンタメチルシクロペンタジエニル) (アザインデニル) ジルコニウムである、請求項 1 の重合触媒系。
7. 前記遷移金属化合物が、ビス (5-メチルーシクロペンタ [b] チオフェン) ジルコニウムジクロリドである、請求項 1 の重合触媒系。
8. 気相、スラリー、又は溶液重合条件下に、
  - a) オレフィン性又はアセチレン性不飽和単位を含むモノマー、
  - b) 所望により、オレフィン性又はアセチレン性不飽和単位を含む 1 種以上のコモノマー、及び
  - c) 請求項 1、2、6 又は 7 の触媒系、を接触させることを含む重合方法。」
2. 明細書、4 頁 19 行、22 行。11 頁 12 行、15 行、13 頁 6 行、22 頁 11 行「選択的な」を「任意である」に訂正する。
3. 明細書、7 頁 22 行、16 頁下から 2 行、23 頁 18 乃至 19 行、25 頁 12 行「任意の」を「いずれかの」に訂正する。
4. 明細書、10 頁 3 行、15 頁 6 乃至 7 行、22 頁末行「任意のもの」を「いずれか」に訂正する。
5. 明細書、12 頁 16 行、14 頁 18 行、15 頁 4 行、8 行「選択的」を「任意である」に訂正する。
6. 明細書、24 頁 6 乃至 7 行「任意の重合又は予備重合法、気相、スラリー又は溶液相における重合に適しており；」を「いずれの重合又は予備重合法、気相、スラリー又は溶液相における重合にも適しており；」に訂正する。